

プラズマ・核融合学会誌

第89巻第2号

2013年2月

小 特 集	重イオン慣性核融合のためのエネルギードライバー開発の進展	
	1. はじめに	堀岡一彦 87
	2. 重イオン慣性核融合システムの全体像 川田重夫, 堀岡一彦, 高山 健, 小栗慶之, 長谷川純, 菊池崇志	89
	3. イオン源	長谷川純 96
	4. 誘導加速器	高山 健 102
	5. 最終集束系	菊池崇志, 小栗慶之 110
	6. おわりに	堀岡一彦 116
講 座	核融合プラズマシミュレーションの技法－大規模並列計算環境の活用－	
	3. MHDシミュレーションのコーディング技法 ... 三浦英昭, 藤堂 泰, 後藤俊幸	119
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト.....		128
インフォメーション		130
	幅広いアプローチ活動だより(41)	
	ITPA (国際トカマク物理活動) 会合報告(39)	
Plasma & Fusion Calendar		134
本 会 記 事		135
	学会賞候補者募集のお知らせ	

表紙の絵

BX-U 装置で Li^+ プラズマと e^- プラズマを独立に生成し、かつ、同時に閉じ込める手順。最初に4本のマイクロフィラメントから e^- ビームを入射し、自己組織化を介して右側の負ポテンシャル井戸底に e^- プラズマを生成する。次に、 Li^+ ビームを入射して、左側の正ポテンシャル井戸底に Li^+ プラズマを生成する。これらプラズマを装置右端の計測器へと排出することで、各種プラズマパラメータの値が測定されている。(Haruka SHIMOMURA *et al.*, Plasma and Fusion Research Vol.8, 1201003 (2013) <http://www.jspf.or.jp/PFR/>)

【複写をされる方へ】本学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けてください。但し、企業等法人による社内利用目的複写については、当該企業等法人が社団法人日本複写権センター(社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はありません(社外頒布用の複写については許諾が必要です)。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル 3F Tel: 03-3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託しておりません。直接当学会へお問い合わせください。